

Ⅲ 前計画の評価

前計画では、26項目の評価項目を設定し、妊産婦期、乳幼児期、学齢期、成人・高齢期、要介護者・障がい者（児）の5分野で目標の達成状況を評価しました。

1 計画の評価

評価方法

現計画の目標設定時の値と直近の実績値を比較し、改善したか、不変か、または悪化したかを区分に従い判断、区分は国の歯科口腔保健の推進に関する専門委員会の評価に準じ、下記のとおり、A、B、C、D、Eで評価しました。

表Ⅲ－1 評価方法

A：目標達成
B：目標値に達していないが、改善傾向にある
C：変わらない
D：悪化している
E：評価困難

目標達成状況の評価

Aの「目標達成」は、38.5%、Bの「目標値に達していないが、改善傾向にある」は38.5%であり、併せると7割を超えており、改善が見られました。

しかしながら、Cの「変わらない」は15.4%、Dの「悪化している」は7.7%ありました。

表Ⅲ－2 目標達成状況の評価

評価区分（策定時の値と直近値を比較）	該当項目数（割合）
A	10項目（38.5%）
B	10項目（38.5%）
C	4項目（15.4%）
D	2項目（7.7%）
E	0項目（0%）

最終評価における指標及び達成状況一覧

ライフステージ 対象者	指 標	歯科口腔保健計画 前回直近の値	歯科口腔保健計画 最終評価直近の値	目標値 R4 (2022)年度	評 価
【妊産婦期】	産科医療機関等での妊産婦の 歯科保健指導等実施率	妊娠中 51.4% 産後入院中8.1% 産後1か月健診時 5.4% 平成21年度健康対策課調べ	妊娠中 50.0% 産後入院中 0% 産後1か月健診時 3.6% 令和5年度年度健康づくり支援課調べ	100%	C
	妊産婦を対象に歯科健康教育・個別指導を 実施する市町村	88.9% (16市町村) 平成24年度健康対策課調べ	100% (18市町村) 令和5年度年度健康づくり支援課調べ	100% (18市町村)	A
【乳幼児期】	3歳児1人あたりむし歯本数	1.26本 平成23年度母子保健情報統計	0.44本 令和3年度地域保健・健康増進事業報告	0.8本以下	A
	3歳児でむし歯のない者の割合	69.5% 平成23年度母子保健情報統計	85.7% 令和3年度地域保健・健康増進事業報告	80%以上	A
	2歳児歯科健診実施市町村	7市町村 平成24年度健康対策課調べ	7市町村 令和5年度年度健康づくり支援課調べ	増加	C
	フッ化物塗布実施市町村	69.5% (13市町村) 平成24年度健康対策課調べ	100% (18市町村) 令和5年度年度健康づくり支援課調べ	100% (18市町村)	A
	フッ化物洗口を実施する保育所、幼稚園数	62か所 平成23年度健康対策課調べ	112か所 令和4年度大分県歯科医師会調べ	増加	B
	フッ化物使用がむし歯予防に効果があることを 知っている人の割合	77.0% 平成23年度県民生活習慣実態調査	83.9% 令和4年度県民生活習慣実態調査	100%	B

ライフステージ 対象者	指 標	歯科口腔保健計画 前回直近の値	歯科口腔保健計画 中間評価直近の値	目標値 R4 (2022)年度	評 価	
【学齢期】	12歳児1人あたりむし歯本数	2.0本 平成23年度学校保健統計調査	1.2本 令和3年度学校保健統計調査	1.0本以下	B	
	12歳児でむし歯のない者の割合	38.2% 平成23年度学校保健統計調査	57.3% 令和3年度学校保健統計調査	60%以上	B	
	むし歯のない者の割合	小学校	29.2% 平成23年度学校保健統計調査	49.8% 令和3年度学校保健統計調査	45%以上	A
		中学校	35.4% 平成23年度学校保健統計調査	54.1% 令和3年度学校保健統計調査	55%以上	B
	高等学校	26.3% 平成23年度学校保健統計調査	41.4% 令和3年度学校保健統計調査	45%以上	B	
	学校保健委員会等の設置率	小学校 74.8% 中学校 73.3% 高等学校 100.0% 特別支援学校 100.0% 平成23年度体育保健課調べ	小学校 91.9% 中学校 95.8% 高等学校 100% 特別支援学校 100% 令和3年度体育保健課調べ	100%	B	
	フッ化物洗口実施学校数	小学校1校 中学校1校 平成24年度健康対策課調べ	小学校264校 中学校114校 令和3年度体育保健課調べ	増加	A	

ライフステージ 対象者	指 標	歯科口腔保健計画 前回直近の値	歯科口腔保健計画 中間評価直近の値	目標値 R4 (2022)年度	評 価
【成人・ 高齢期】	60歳代における咀嚼良好者の割合	71.6%	66.0%	80%以上	C
		平成23年度県民生活習慣実態調査	令和4年度県民生活習慣実態調査		
	40歳代で進行した歯周炎に罹患している人 (4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合)	58.5%	62.0%	35%以下	C
		平成14年歯周病罹患実態調査	令和4年度県民歯科健康状況実態調査		
	60歳で24本以上自分の歯を有する者の割合	46.1%	82.1%	82%以上	A
		平成23年度県民生活習慣実態調査	令和4年度県民歯科健康状況実態調査		
	80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合	34.3%	52.7%	62%以上	B
		平成23年度県民生活習慣実態調査	令和4年度県民歯科健康状況実態調査		
	定期的に歯科健診を受けている者の割合 (20歳以上)	42.5%	37.4%	70%以上	D
		平成23年度県民生活習慣実態調査	令和4年度県民生活習慣実態調査		
40～50歳代における歯間部清掃器具を 併用している人の割合	45.1%	63.9%	60%以上	A	
	平成23年度県民生活習慣実態調査	令和4年度県民生活習慣実態調査			
喫煙が歯周病の誘引であることを 知っている人の割合	49.1%	40.6%	100%	D	
	平成23年度県民生活習慣実態調査	令和4年度県民生活習慣実態調査			
歯周疾患検診実施市町村	27.7% (5市村)	100% (18市町村)	100%	A	
	平成24年度健康対策課調べ	令和5年度健康づくり支援課調べ			
口腔機能向上プログラム実施市町村数	14市町村	18市町村	18市町村	A	
	平成24年度高齢者福祉課調べ	令和4年度高齢者福祉課調べ			

ライフステージ 対象者	指 標	歯科口腔保健計画 前回直近の値	歯科口腔保健計画 中間評価直近の値	目標値 R4 (2022)年度	評 価
【要介護者】 【障がい者】	介護老人福祉施設等での定期的な 歯科健診の実施率	14.7%	36.4%	50%以上	B
		平成23年度実施アンケート調査	令和5年度健康づくり支援課調べ		
【要介護者】 【障がい者】	障がい者（児）入所施設での 歯科健診の実施率	34.2%	61.8%	80%以上	B
		平成23年度実施アンケート調査	令和5年度健康づくり支援課調べ		